

おらほの自治会 三ヶ田自治会 (八幡平)



自主防災訓練の様子

三ヶ田自治会は八幡平地区の南側に位置し、夜明島川と田んぼに囲まれています。昔から農作業の時期に合わせた地域行事や自治会活動を行ってきました。

当自治会では、自治会全体での活動のほかに、子ども会や婦人会、老人クラブなどの各組織でも役割を分担しながら活動していますが、近年は自治会員の減少に伴い、地域行事や自治会活動への参加者も減少してきました。

このような状況を打開するため、今後、自治会員の減少により自治会活動の低迷が心配されますが、住民同士の団結はもちろのこと、近隣自治会とも連携、協力して、今ある課題を新たな財産に変えられるよう頑張っていきたいと思っています。



三ヶ田自治会 会長

阿部 寿幸さん
Toshiyuki Abe



市民共動課 共動推進班

☎ 30-0202

工夫し改善に取り組む自治会

世界遺産登録に向けて

☎ ストーンサークル館 ☎ 37-3822

世界遺産

大湯環状列石

世界遺産登録に向けた取り組み

世界遺産と無形文化遺産

世界遺産は有形の不動産が対象で、自然遺産や文化遺産、複合遺産の3種類があります。2019年7月時点で自然遺産213件、文化遺産869件、複合遺産39件の合計1121件が登録されており、日本では自然遺産4件、文化遺産19件の合計23件が登録されています。

無形文化遺産は、芸能や祭礼、伝統工芸技術などが対象で、世界遺産とは異なるものです。本市では2009年に「大日堂舞楽」、2016年に「花輪祭の屋台行事」を含む「山・鉾・屋台行事」が無形文化遺産に登録されています。

世界遺産と無形文化遺産はどちらもユネスコの条約に基づいた制度ですが、無形文化遺産は世界遺産の有形不動産の保護方法とは異なるため、2003年に「無形文化遺産の保護に関する条約」が新



花輪祭の屋台行事



大日堂舞楽 (鳥舞)



Szia! from Sopron

(ショプロンからこんにちは!)

日本語指導員現地レポート 第10代日本語指導員 堀川さゆみさん

秋田市出身。大学時代に留学経験があり、帰国後もホームステイの受け入れや、多くの異文化交流プログラムに参加するなど、豊富な国際交流経験を活かし渡航。



ショプロンでは気温が30度前後の、暑い日が続いています。ただ、日本の蒸し暑さとは違い、乾燥しているのが、日本の夏よりも過ごしやすく感じます。日本では、紫外線対策として、日傘をさして肌を守る人を多く見かけましたが、ハンガリーでは、「日傘率」ほぼ0%です。代わりに「サングラス率」がとっても高く感じます。日照りの中でも、日焼けをあまり気にしないのか、タンクトップにショートパンツなど、肌を出す人も多いです。文化の違いだと思いますが、面白いと思います。

6月11日から14日にかけて、みんなで楽しむ自由参加のイベント「スペシャルウィーク」を実施しました。

「スペシャルウィーク」では、カルタやトランプ、すごろく、折り紙、歌の練習、紙風船、映画鑑賞などのプログラムを用意しました。トランプは一休さんや七五三が描かれているものを使ったり、歌の練習では、夕焼け小焼けを歌ったりと、日本人にとっても懐かしいものを揃えました。猛暑が続く中、たくさん生徒が参加してくれました。中には毎日来てくれた生徒もいました。日本の遊びは予想以上に盛り上がり、生徒同士もおしゃべりを楽しんでいました。私も、生徒と一緒に楽しい時間が過ごせて嬉しかったです。



スペシャルウィークの様子

日本語教室は、場所をお借りしている高校が夏休みに入ったため、教室も夏休み期間中はお休みです。その間は、プライベートレッスンをしたり、イベントを企画したりして、夏もアクティブに活動していく予定です。

ブログ公開中 <http://termesztaszerteto.blogspot.com/> ぜひご覧ください。

ECO & LIFE

ECO

快適なくらしの情報

その電話、「アポ電」かも? 知らない番号からの電話に要注意
不審電話に注意してください

警察や市役所などの公的機関、実在する企業、家族などをかたり、家族構成や資産状況を確認するアポイントメント電話、通称「アポ電」とみられる不審電話が増加しています。振り込め詐欺や還付金詐欺といった財産的被害のきっかけとなるだけでなく、強盗や窃盗といった人的被害にもつながる可能性があります。注意が必要です。

アポ電は、会話をしているうちに個人情報を出そうとするものです。住所や生年月日、家族構成などの個人情報や資産状況を聞き出すなど、お金に関する話になった場合はすぐに電話を切りましょう。家族を名乗る電話であっても、一度電話を切って自らかけ直すことでトラブルが避けられます。

固定電話や携帯電話の着信番号通知機能のほか、留守番電話機能

を活用し、誰からの着信であるか把握したうえで電話に出るようにしましょう。不審な電話があった場合はすぐに電話を切り、警察や消費生活センターに相談してください。

また、消費生活センターでは、通話録音装置の貸出を無料で行っています。この装置は、電話の発信者に録音を知らせるアナウンスを流し、通話を自動で録音する装置です。貸出の対象は、高齢者のみの世帯(日中に高齢者のみとなる世帯も含む)、過去に特殊詐欺などの被害に遭ったことのある方です。詳細や申し込みについては、お問い合わせください。

☎ 消費生活センター
(市民共動課内)
☎ 30・0258